

日曹くん煙剤のエース・ストライカー

# 施設栽培の病害防除に

強力くん煙殺菌剤

®

# トリフミンジェット

トリフルミゾール.....10.0%

殺菌剤分類 3

人畜毒性：医薬用外劇物

包装：(50g×5錠)×10パック×4箱



きゅうり  
うどんこ病



すいか  
うどんこ病



メロン  
うどんこ病



ズッキーニ  
うどんこ病



こんにゃく  
乾腐病



ばら  
うどんこ病



きく  
白さび病



チューリップ  
球根腐敗病



ピーマン  
ししとう  
うどんこ病



いちご  
うどんこ病



トマト  
ミニトマト  
葉かび病



さや  
えんどう  
実えんどう  
うどんこ病



なす  
すすかび病  
うどんこ病



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号

お問合せ (03) 3245-6178

(平日9~12時、13~17時、土日祝祭日を除く)



最新の登録内容

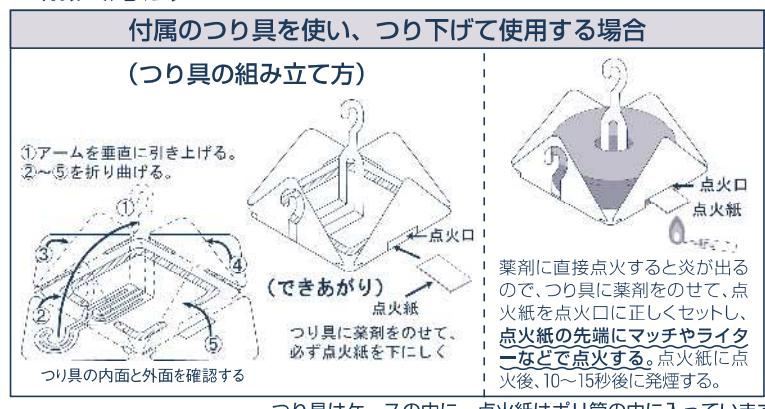


使用方法(動画)

## ■適用病害と使用方法

適用場所	作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤及びトリフルミゾールを含む農薬の総使用回数	使用方法	
温室内 ビニールハウス等 密閉できる場所	きゅうり、いちご ピーマン、しとう メロン、すいか さやえんどう、実えんどう	うどんこ病	くん煙室容積 400m <sup>3</sup> 高さ2m、 床面積200m <sup>2</sup> 当り	50g	収穫前日まで	5回以内	くん煙
	トマト、ミニトマト	葉かび病			4回以内		
	なす	うどんこ病 すかび病			3回以内		
	ズッキーニ、ズッキーニ(花)	うどんこ病			5回以内		
	ふき	白さび病	くん煙室容積2m <sup>3</sup> (高さ2m、床面積1m <sup>2</sup> ) 当り50~100g	100g	植付前	1回	
	ばら	乾腐病					
	き	球根腐敗病	くん煙室容積1m <sup>3</sup> 当り50g				
	こんにゃく	乾腐病					
	チューリップ	球根腐敗病					

## ■点火方法



点火は以下の通りに行ってください。

### ●点火紙を用いる場合

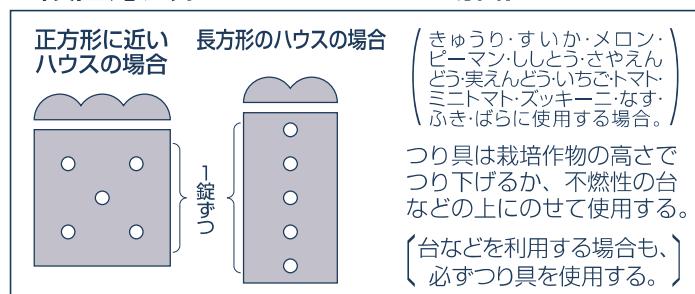
同封の点火紙をつり具の所定の位置に正しく設置し、その上に薬剤をのせてから点火紙に点火します。点火紙を薬剤の上にのせて点火すると、炎が出るのでさせてください。発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消してください。点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出て、そのまま放置してください。

### ●電気式点火・くん煙装置を使用する場合

装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認のうえ、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電してください。点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置してください。発煙直後に万一炎が出た場合においても、再びくん煙室には入らずに、そのまま放置してください。

●点火後は、くん煙終了時までくん煙室に入らないでください。

## ■設置方法(10アールハウスの場合)



## ■使用薬量の決め方

ハウスの面積	200m <sup>2</sup> (約61坪)	600m <sup>2</sup> (約182坪)	1,000m <sup>2</sup> (約303坪)
ハウスの容積 (高さ2mとして)	400m <sup>3</sup>	1,200m <sup>3</sup>	2,000m <sup>3</sup>
使用量	1錠	3錠	5錠

（重ねて使用する場合には、1個所2錠までとしてください。）

て事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

## ⚠ 安全使用上の注意

- 温室・ガラス室・ビニールハウス等防除しようとする室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を取り除き、室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数箇所に分けて配置し、煙が満べんなく行きわたるようにしてください。
- くん煙する場合は、添付のつり具または電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙してください。つり具及び電気式点火・くん煙装置はつり下げるか、または不燃性の台などの上にのせて使用してください。なお、植物体・可燃物から離れた中央の安全な場所に設置してください。特にビニールなどの被覆材とは、60cm以上離れた位置で使用してください。
- 日中のくん煙はさけ、夕刻からくん煙し、翌朝開放してください。
- 室外で強い風が吹いている時は、煙が片寄ってしまい、均一な効果がでにくいので、使用しないでください。
- 定植直後または幼苗・軟弱徒長苗等には薬害を生ずるおそれがあるので、使用はさせてください。
- 使用方法などを厳守してください。適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任においてください。

《メロンへの影響》ハウスなどの施設栽培メロンに使用する場合、特にネット系メロンでは、交配2~3日前から交配20日後までの幼果の時期には、薬害を生ずるおそれがありますので、この時期の使用はさせてください。

本剤 使用の 際は	<ul style="list-style-type: none"> <li>●使用前にはラベルをよく読んでください。</li> <li>●ラベルの記載以外には使用しないでください。</li> <li>●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。</li> </ul>
-----------------	--

(本資料は2022年10月現在の登録内容に基づいています。)